

SIR DUKE

SUMMERTIME

John Kaizan Neptune & Paula Desmond



DAMPC

DOCD-0010

制作にあたって

DAM会員の皆様、日頃のご愛顧誠にありがとうございます。

DAMオリジナルCDも今回で10タイトルになりました。この記念すべき10タイトル目のCDとして、ジャズ・ポップスのスタンダード曲集を制作いたしました。

選曲にあたっては極力幅広く変化にとんだナンバーを選ぶように心がけ、Jazzのスタンダードはもちろんの事、ポップスやバラード、ロック調のものから有名なミュージカルやスクリーン・ミュージックまで作曲者や年代にとらわれる事なく親しまれる曲、聴いて楽しくなる曲を中心に選曲しました。

アレンジャーとしては「弘田三枝子76/45」(DOR-0086)や「伊藤咲子・中原めいこ76/45」(DOR-0117)で音楽的にも楽しく、オーディオ的にも魅力あるアレンジをしていただいた、直居隆雄さんと、S.57年に「ジョン・海山・ネプチューン・デジタル45」で登場し、オーディオチェックに向けたダイナミックな尺八の演奏とオリジナル曲を聴かせてくれた、アメリカ人の尺八奏者ジョン・海山・ネプチューンのお二人にそれぞれの持味を出したアレンジをお願い致しました。

そして海山・ネプチューンには尺八、そして直居さんにはギターと、それぞれ演奏のメイン奏者として参加していただき、素晴らしいソロを演奏していただきました。

ヴォーカルはポップスや、ロック歌手として長いキャリアを持つ実力派シンガー、ポーラ・デズモンドを迎え、東芝EMIの第1スタジオで5月11日から16日までの5日間にわたって録音を行いました。

余談にはなりますが、S.53年の「デューク・エイセス76/45」のDAMオリジナル録音いらい数多くのDAMオリジナル録音やDAM生録音会や多数のイベントなどで使用させていただき、DAM会

員の皆様にもおなじみの、東芝EMI第1スタジオも、新スタジオの建設が決定との事で、今回がDAMオリジナル録音としては最後のものとなりました。

ヴォーカルの入った4曲は、スチューダーのA800 76cm/24チャンネル・アナログ録音をデジタルマ스터リングして使用しました。「ティル・ゼア・ラズ・ユー」のみ2チャンネルのデジタル録音を使用し、他の8曲は三菱の32チャンネル・デジタル録音機でデジタル録音をしました。ヴォーカルの入った4曲は、同時録音ですので、ヴォーカルとバックの演奏に一体感があり、曲全体の流れ、さらに雰囲気も良く仕上がったのではないかと思います。さらにヴォーカルとバックの演奏との一体感と熱気をも録音出来たのではないかと思います。オーディオチェックのポイントとしては、ポーラ・デズモンドのヴォーカルの音域の広さと力強さ、特に高音の伸びの良さなどは、スピーカーの高域チェックには最適ではないかと思います。他の楽器ではヴァイブラフォンやラテン・パーカッション、ブラスや編成の大きいストリングスなど、アコースティック楽器ならではの自然な響きと滑らかでふくらみのある音、そして尺八と生ギターデュオによる立上がりや、弦の響きなど、電子楽器ではえられない、アコースティック楽器独特の雰囲気をバランス良く再生出来るかなど多くのチェックポイントを持った全13曲61分33秒におよぶCDで音楽とオーディオを同時に楽しんでもいただければ幸いです。又1曲目の「アイ・ジャスト・コールド・トゥ・セイ・アイ・ラヴ・ユー」から13曲目の「ティル・ゼア・ラズ・ユー」まで可能な限り大音量でお聴きいただく事を薦めます。

なお、今回のアルバム制作にあたって、東芝EMI様の多くのスタッフの方々と関係者の方々に多大な御協力をいただきましたことを厚くお礼申し上げます。

DAM推進委員会 



SIR DUKE / SUMMERTIME

John Kaizan Neptune & Paula Desmond

- ① アイ・ジャスト・コールド・トゥ・セイ・アイ・ラヴ・ユー“心の愛”…(3:54)
(作曲: スティービー・ワンダー、編曲: J・K・ネプチューン)
- ② ニューヨーク・ステイト・オブ・マインド“ニューヨークの想い”…(5:50)
(作曲: ビリー・ジョエル、編曲: J・K・ネプチューン)
- ③ マイ・フェイヴァリト・シングズ“私のお気に入り”……………(4:15)
(作曲: リチャード・ロチャース、編曲: 直居隆雄)
- ④ ウェーブ“波”……………(5:17)
(作詞&作曲: アントニオ・カルロス・ジョビン、編曲: J・K・ネプチューン)*
- ⑤ ジップ……………(4:56)
(作曲: J・K・ネプチューン)
- ⑥ ジョージア・オン・マイ・マインド“我が心のジョージア”……………(4:50)
(作詞: スチュアート・ゴッレル、作曲: ホーギー・カーマイケル、編曲: 直居隆雄)*
- ⑦ カーニバルの朝&サンバ・デ・オルフェ……………(5:36)
(作曲: ルイス・ボンファ、編曲: 直居隆雄)
- ⑧ オーヴァー・ザ・レインボウ“虹の彼方に”……………(4:14)
(作曲: ハロルド・アーレン、編曲: 直居隆雄)
- ⑨ サー・デューク“愛するデューク”……………(3:38)
(作詞&作曲: スティービー・ワンダー、編曲: 直居隆雄)*
- ⑩ サテン・ドール……………(4:53)
(作曲: デューク・エリントン&ビリー・ストレイホーン、編曲: 直居隆雄)
- ⑪ サマー・タイム……………(4:33)
(作詞: デュ・ボース・ヘイワード、作曲: ジョージ・ガーシュウィン、編曲: J・K・ネプチューン)*
- ⑫ ナイト・トレイン“夜汽車”……………(5:15)
(作曲: ジミー・フォレスト、編曲: J・K・ネプチューン)
- ⑬ テイル・ゼア・ワズ・ユー……………(3:47)
(作曲: メレディス・ウィルソン、編曲: J・K・ネプチューン)

*ボーラ・デズモンド(ヴォーカル)

素晴らしいメンバーと演^やれた、 楽しく最高のセッションでした。 今回のレコーディングなどについて/ジョン・海山・ネプチューン

尺八は、五つの穴しかないという、一見、とても素朴な楽器です。ふつうの尺八の長さが一尺八寸(54.5cm)ある事から、この名が付きましました。尺八は、真竹の根元から作られ、地面のすぐ下の部分を切ると、根元はそのまま、笛の形をしています。

しかし尺八は様々な、厳しい過程をへて作られま



す。まず、六ヶ月から二年又は、それ以上たった竹を切り、油脂を除きます。その竹の自然のままの曲線は、たいてい修正しなければなりません。内部の各々の節は、特製のみや、やすりで削りとります。尺八の寸法は、正確な音程と音色を考慮して、その内部の直径で決まります。たとえ、外側の直径は、かなり加工したとしても、内部は正確に、組立てら

れ、底の方へと、少し先細りにします。勿論、五つの穴を正しく配置するのも、重要な課題で、内部の特殊な、漆加工は、熟練した技術を要します。

尺八の一番大切な、尖った吹き口の部分は、斜めに切り、水牛の角や、象牙、最近では、黒いプラスチック製のものを等を、差込みます。この尖った吹き口に空気、つまり息を吹込むと、空気の中で振動が起り、音が出る訳です。

尺八という名は、前にも述べた様に、その寸法からきていますが、長さの異なる、すべての笛類も、こう呼びます。このレコーディングのために、私は、一尺三寸、一尺六寸、一尺七寸、一尺八寸、二尺、そして二尺四寸と、六種類の尺八を使用しました。

標準型の尺八は、D (二)、F (へ)、G (ト)、A (イ)、C (ハ)の、各音が演奏出来ます。しかし、沢山の笛類、殊に古い物等のチューニング(調律)は、西洋音楽のものとは一致しない事が有ります。尺八の音域は、ふつう、約2オクターブ位しか使われませんが、3オクターブまで十分、出せます。それぞれの竹が、独自の特徴を持つため、二つとして同じ尺八は、ありません。つまり、各々の尺八が、個性的なサウンドを持つという点が、大変、ユニークな所なです。

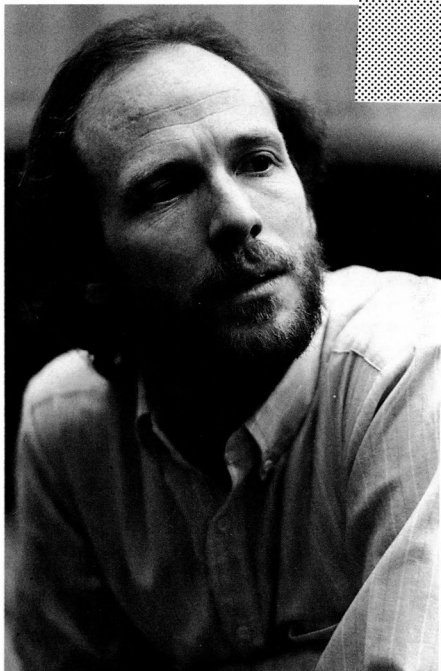
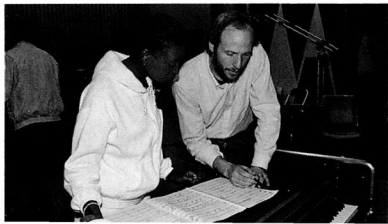
今回、初めて全部スタンダードの曲で、レコードを作ってみました。この録音にも参加してくれた主

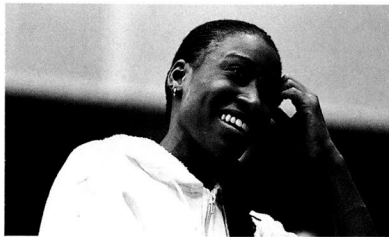
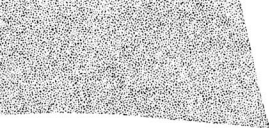


な人達と、私のグループ、"ジョン・海山・ネプチューン・クインテット"を組み、ここ数年、"スタンダード"を演奏して来ましたが、このメンバーで録音したのは、これが初めてです。

勿論、ここに集めたスタンダード曲は、尺八用に書かれた物ではなく、微妙な音程とか、よい響きを創るには、かなりの技術が必要になります。又、他にも、その曲の音域という事も、難しい問題です。つまり、そのメロディの音域が、高すぎたり低すぎたりするので、尺八のいつもの指使いでは、間に合わなくなります。

中には演奏しやすい曲もあって、例えば、12小節のブルースなどは、コード進行も簡単で、ややこしい多くのボサノヴァの曲などよりは尺八に合う様です。尺八の演奏には確かに限界がありますが、ジャズには、とても向いていると思いますし、フルートとか、ジャズでよく使われる他の管楽器などにはない、独特の趣があります。





今度、直居隆雄氏と一緒に仕事が出来たのは、素晴らしい事です。私達は前にも、SHÔGUN、TWO IN FLIGHT (東芝 EMI) や、JAZZEN (日本コロムビア) 等で、共演した事があります。いつも彼の素晴らしいギター (繊細で、ファンキー、その上、ブルージー!) だけでなく編曲のセンスにも、感心させられます。又、彼は、スタジオに於ける専門知識にも卓越しています。彼は前に、「僕は『凄いテクニック』のプレイヤーではないけれど、趣味のよいプレイをしたいといつも思っている。」と言いましたが、まったく彼は、「最高に趣味の良い」音をしています。これからも、彼と『楽しく演奏』機会が、沢山あります様に!

ポーラ・デズモンドさんも、私がこれから、又、一緒に仕事をしたいと思っている、素晴らしいミュ



ージシャンの一人です。彼女自身は、自分を『ジャズ・シンガー』とは、思っていない様ですが、今回、歌ってくれたジャズのスタンダードの数々は、とても素晴らしい! もともと、ポップス・ロック歌手の彼女は、その幅広い声域と、力強い声で、どんなジャンルのものも、こなしてしまいます。ポーラは、こんどの様に、譜面をもらい、僅か数回練習しただけでレコーディングするなんて、初めてだと言っていました。当然、彼女は、これらの曲を、前からよく知ってはいましたが、『サマー・タイム』の様に、尺八と歌がからむ、凝った編曲では、特別なセンスが、要求されます。スタジオでポーラは、『ガラス越しだと、一応、見えるけど、扉が閉ったままじゃ、皆とうまういかないわ。』と言って、仕切りの扉をあけて歌いました。そこで私達も皆、仕切りの扉を開き、ポーラも、彼女の音楽の扉をあけて加わり、一緒に楽しいセッションとなりました。

(訳: 佐藤美和子)



曲目解説

小林 貢

① I just called to say I love you (D.M.)

1984年のコメディ映画『ウーマン・イン・レッド』のサウンド・トラック盤に収められていた曲でステイビーらしい優しさに溢れた親しみやすい佳曲でシングルヒットした。別に特別の日じゃない普通の日さ、でも心から「君を愛してる」っていう。という内容の歌詞であり「心の愛」という邦題がつけられている。ゆったりとした8ビートのリズムに乗って温かみのある音色の尺八がメロディを奏で、バックのアコースティック・ギターも響きが豊かで美しい。アコースティックな自然な響きが得られ曲想に上手くマッチしたサウンドといえるだろう。音場に散りばめられたパーカッション類の粒立ちも良いが強調感がない点が好ましい。

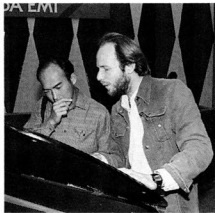
② New York State of mind (D.M.)

ビリー・ジョエルが初めてニューヨークでレコーディングした4作目のアルバム『ニューヨーク物語』に収められ大ヒットした。この曲は彼が3年間暮したカリフォルニアからグレイハウンドに乗って大陸を横断し、ニューヨークに到着したその日、僅か20分間で書き上げたという。シンプルで親しみやすいメロディだが、ビリー・ジョエルのニューヨークへの想いが込められ、心に深く残る曲だ。ヴァイブが美しく広がりのある音でイントロを奏で、そのままメロディに移りジョンの尺八に引きつがれるが、ア

レンジ、演奏とも原曲のイメージを崩さず、しっかりとニューヨークへの想いを唄い上げる、という感じが良く表現されている。直居隆雄も美しい音色で趣味の良いソロを聴かせる。

③ My favourite things (D.M.)

原曲は1959年のミュージカル『サウンド・オブ・ミュージック』のためにリチャード・ロジャースが書きおろしたワルツだ。ジャズ界ではジョン・コルトレーンが何度も取り上げ、彼の十八番として余りにも有名。ここでは軽快なワルツのリズムにノッてジョンが尺八でオリジナルのイメージを強く残したメロディを奏でている。ジョン・コルトレーンはアラビアの民族楽器の持つ鼻にかかったような音色を狙ってソプラノ・サクソを使ったというが、ここでも尺八の持つオリエンタルな雰囲気が原曲のメロディと良くマッチしている。ストリングスの漂うよ





うなハーモニーの中を飛翔するかのようなソロが聴きものだ。

④ Wave (A.D.)

ブラジル音楽界の巨匠、アントニオ・カルロス・ジョビンが1967年に作詞・作曲したボサノヴァの名作。彼自身がクラウス・オーガマン指揮のオーケストラと共演し67年5月と6月にロサンゼルスでレコーディングした『波』(A&M)によってヒットとなった。ここでいう波とは海の波ではなく、愛情の高まりを波にたとえたものであり美しいメロディが印象的だ。本作ではボーラが原曲のイメージを大切にしながらジャズ・フレーバーを漂わせ彼女ならではの味を出している。直居隆雄のアコースティック・ギターと浜田均のマリンバのソロがビュアに再現されるかどうかでシステム全体の周波数特性がチェック



できる。

⑤ Zip (D.M.)

このアルバムのリーダー、ジョン・海山・ネプチューンのオリジナルで「弾丸などの飛ぶ音とか布を裂く音、またはチャックを閉める(開ける)」というような意味があるが、ここではチャックの開け閉めの音を曲中に挿入しユーモラスな雰囲気を感じ出している。ミディアム・テンポの楽しい曲でリラックスしたソロが聴ける。

⑥ Georgia on my mind (A.D.)

有名な『スターダスト』の作者であるホーギー・カーマイケルが、1930年に作曲したバラードの名作。作詞はスチュアート・ゴードルで歌曲として多くのアーティストが取り上げているが1960年にレイ・チャールズが故郷のジョージアへの想いを唄い大ヒットする。本作ではボーラが情感豊かに、しっかりと唄い上げているが、浜田均のヴァイブラフォンのオ



ブリガートも効果的だ。またジョンのソロもソウルフルだ。ヴァイブラフォンの透明感のある音やアコースティック・ベースの伸びのある音がリアルに再現できるかどうかチェック・ポイントといえる。

⑦ *Manha do carnaval & Samba de Orfeu* (D.M.)

1960年に制作されたフランス映画『黒いオルフェ』に挿入された曲で作曲はブラジルのギター奏者ルイス・ボンファだ。一度聴くと忘れられない哀愁のあるメロディが印象的だ。ここではボサノヴァの名曲とサンバの名曲をメドレーにし、カーニバルの朝はアコースティック・ギターのメロディにからむ哀感を湛えた尺八のオブリガートが独特の雰囲気を生んでいる。途中から陽気なサンバの『サンバ・デ・オルフェ』へ移行し尺八の透明で明快な音色のメロディが流れ出す。ソロはマリンバで、この辺りで中高域のトランジェントが判断できそうだ。



⑧ *Over the rainbow* (D.M.)

1939年のミュージカル『オズの魔法使い』のためにハロルド・アーレンが作曲エドガー・イップ・ハーバークが作詞し、主演のジュディ・ガーランドが唄い、その年のアカデミー賞を獲得した名曲である。美しい響きのストリングスのイントロに続いて、ゆったりとしたテンポでジョンのメロディーが流れ出す。尺八という楽器が持つ独特の哀感のためか聴きなれたメロディが新鮮に感じられる。エフェクターの効果を活かした生きた直居隆雄のソロもベテランらしい味がある。尺八の微妙なヴィブラートやブレスのクリアーさで分解能の良し悪しが判断できストリングスの広がりや音場感がチェックできるだろう。

⑨ *Sir Duke* (A.D.)

'76年度のグラミー賞を獲得したスティービー・ワンダーの『キー・オブ・ライフ』に収められていた曲でデューク・エリントンに捧げられたナンバーだ。本作では余りにも有名なエリントン・ナンバーである『A列車で行こう』をイントロに使っている。ポーラのヴォーカルは力強いスイング感に溢れ原曲に負けないエモーションな味を出している。途中のスピーディーかつスリリングなユニゾンのリフも聴きどころだ。

⑩ *Satin doll* (D.M.)

デューク・エリントンとビリー・ストレイホーン



が1953年に作曲、1958年にジョニー・マーサーが詞を付け、多くのアーティストに取上げられているポピュラーな曲。エリントンのある曲の中でも特に親しまれているが、都会的で趣味の良い歌詞によるところが大きいといえる。エラ・フィッツジェラルドが得意なナンバーとしているが他にも数多くの名演がある。尺八、アコースティック・ギター、ピアノの対位法的なイントロに続いてリズムインし歌心に溢れたメロディが流れ出し、途中のアンサンブルや3拍子への移行など楽しいアレンジが魅力的だ。ピュアでジェントルな音のアコースティック・ギターと透明感、スピード感のある尺八の掛け合いが聴ける。

11 Summertime (A.D.)

1935年のフォーク・オペラ『ボギーとベス』のためにジョージ・ガーシュウィンが作曲、デュ・ボース・ヘイワードが作詞した名曲中の名曲でガーシュウィンは古いニグロ・スピリチュアル（時には母のない子のように）にヒントを得たという。数えきれないほど多くのアーティストが名演を残しているが、中でもジョン・コルトレーンの演奏、ヘレン・メリルの名唱、エラ・フィッツジェラルドとサッチモのデュオが有名だ。冒頭からボーラもそうした名唱・名演に負けない熱唱を聴かせてくれる。透明で張りのあるハイトーンヴォーカルが彼女の實力の高さを物語る。

12 Night train (D.M.)

ポピュラーなブルース・ナンバーでジミー・フォ





●録音ソース

D.M.: デジタル・マルチ

A.D.: アナログ・マルチよりデジタル・トランスファー

D.2ch: デジタル2チャンネル

レストが作曲しルイス・シンプキンズとオスカー・ワシントンによって作詞された。ジャズ・ファンにはオスカー・ピーターソン・トリオの同名のアルバムに収められている演奏がお馴染みだ。ここでは夜汽車の発車音や汽笛を思わせる尺八とドラムのイントロから、オーケストラ的なアンサンブルによる軽快なノリのテーマが流れ出す。ピアノのソロに続いてオクターブ奏法を交えたギター・ソロ、そして尺八のソロへと引きつけられるが列車が徐々に加速してゆくように演奏も熱を帯びてくる。そして、パーカッション・ソロでもっともホットになるが、この辺りはおディオオティックにも聴きどころといえる。

⑬Till there was you (D.2ch)

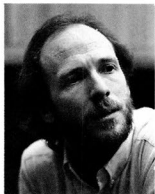
1952年にメレディス・ウィルソンが作詞・作曲した美しいバラード。かのビートルズがセカンド・アルバムで取り上げヒットしているのが彼等の曲と思われる方も多いのではないだろうか。本作では美しい音色のアコースティック・ギターをバックに思い入れたっぷりの尺八がテーマを1コーラス奏でた後にリズムインしギターがメロディを引き継いでいる。リズムインした時のアコースティック・ベースの低音が実に伸びやかでふくよかさもあるが、この辺りを正確に再現するにはシステムの低域特性の良さが要求されるだろう。また美しいアコースティック・ギターと尺八のメロディは中高域の周波数特性のチェックに適している。

《楽器編成》

- ① I just...; 尺八(Sha)、ギター(G)、マリンバ(Mar)、ピアノ(P)、ダブル・ベース(Db)、ドラム(Ds)、ラテン・パーカッション(LPerc)
- ② NewYork State...; Sha、G、ヴァイブラフォン(Vib)、P、Db、Ds、LPerc
ヴァイオリン(Vn)10、ヴィオラ(Va)2、チェロ(Vc)2
- ③ My favourite; Sha、G、Vib、P、Db、Ds
Vn10、Va2、Vc2
- ④ Wave; ヴォーカル(Vo)、Sha、G、Mar、P、Db、Ds、LPerc
- ⑤ Zip; YKK ファスナー、Sha、G、Vib、P、Db、Ds、LPerc
- ⑥ Georgia; Vo、Sha、G、P、Vib、Db、Ds
- ⑦ Manha do carnaval; Sha、G、Mar、P、Db、Ds、LPerc
- ⑧ Over the rainbow; Sha、G、P、Db、Ds
Vn10、Va2、Vc2,
- ⑨ Sir Duke; Vo、Sha、G、P、Db&エレキベース(Eb)、Ds、LPerc
トランペット(Tp)2、トロンボーン(Tb)、アルト・サクソ(A Sax)
- ⑩ Satin doll; Sha、G、P、Db、Ds
- ⑪ Summertime; Vo、Sha、G、P、Db、Ds
- ⑫ Night train; Sha、G、P、Db、Ds、LPerc
Tp2、Tb、ASax
- ⑬ Till there; Sha、G、Db、Ds

演奏者の紹介

ジョン・海山・ネブチューン (尺八)



ハワイで民族音楽を専攻していた1971年頃に尺八を習い始め、1977年に尺八の都山流の師範となり以来『海山』という師範名でジャズ界で活躍している。この道に入る前は南カリフォルニアのサーファーだったという。ジャズと禅の心を表現したという『ジャゼン (JAZZEN)』が最新作で今年の5月に発表している。

直居隆雄 (ギター)



自由ヶ丘の『5 SPOT』に学生時代から出演し鈴木勲等と共演、プロとなる。以後、大沢保郎、シャープス &フラッツ等のバンドに参加すると同時にライブ・スポットで多くのアーティストとの共演経験を持つ。1970年には渡米しエディー・ヘンダーソン、エルビン・ジョーンズ、チック・コリア等と共演、1年後に帰国し再びライブ活動を行ない現在では作・編曲でも幅広く活躍している。

ポーラ・デズモンド (ヴォーカル)



サンフランシスコのアメリカン音楽学校、ニューヨークのバーゴフ演劇研究所に学び、テレビ、映画、舞台、ライブ・スポット等、幅広い経歴を有した新進ヴォーカリストだ。現在は東京のライブ・ハウスをメインに活動しているが、北村英治スウィング・エイジ・バンドと共に日本ツアーに参加もしている。

長谷川清司 (ドラムス)



福井県出身、東京芸大在学中に猪俣猛とセパレーション、森寿男とブルーコートズで活躍。その後、ダン池田とニューブリードを経てフリーとなる。現在ジョン・海山・ネブチューン・クィンテットのほかアンリ菅野のバックも努めている。



二村希一（ピアノ）



東京都出身、20才頃からプロとして活動を始め現在ジョン・海山・ネプチューン・バンドのほかレイラ・マリア・コムサウダージなどのサンバ・バンド、松尾明トリオ等で幅広く活躍中。

浜田均（マリンバ、ヴァイブラフォン）



函館ラサール高校時代にジャズの洗礼を受ける。大学在学中もジャズに熱中し卒業後東京芸大別科で打楽器を学び終了後、猪俣猛&フォースに参加しプロとなる。フォース解散後数々のバンドやスタジオで活躍、ジョン・海山・ネプチューンの『JAZZEN』にも参加している。

納見義徳（ラテン・パーカッション）



早稲田大学在学中に学生バンドの名門『ハイツォエティー・オーケストラ』に参加。卒業後『チャーリー石黒と東京バンチョス』『見砂直照と東京キューバンボーイズ』などのラテンバンドで活躍。1975、79年にはメキシコ中南米に渡りラテンリズムを学び、帰国後『オルケストラ246』などサルサ・バンドを率いるかたわら『菊地ひみ子グループ』『バスター』『ジョン・海山・ネプチューン・クインテット』に籍を置き幅広く活躍している。『JAZZEN』にも参加している。

高尾幸宏（ダブル・ベース）



福岡県北九州市出身、早稲田大学時代、名門『ハイツォエティー・オーケストラ』でベースを担当し『ハイ・ウェイ』のレコーディングに参加する。古沢良治郎グループなどで活躍後5年前からジョン・海山・ネプチューン・グループに参加『JAZZEN』にも加わっている。

- プラス・セクション：数原晋(Tp.) 上野雅憲(Tp.) 西山健治(Tb.) JAKE H. CONCEPTION (ASax)
- ストリング・セクション：篠崎正嗣グループ



対訳（訳：佐藤美和子）

Wave

ウェイブ “波”

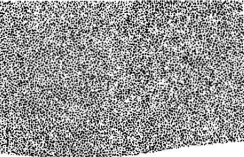
オリジナルの解説書では、この頁に歌詞がありますが
PDFでは省略させていただきました。



Georgia on my mind

ジョージア・オン・マイ・マインド
"我が心のジョージア"

オリジナルの解説書では、この頁に歌詞がありますが
PDFでは省略させていただきました。



Sir Duke

オリジナルの解説書では、この頁に歌詞がありますが
PDFでは省略させていただきました。

サー・デューク “愛するデューク”

Summertime

サマー・タイム

オリジナルの解説書では、この頁に歌詞がありますが
PDFでは省略させていただきました。





使用マイク一覧

Ds.

TOMS. SENNHEISER MD-421×4

SDr. SHURE SM-56

BDr. SENNHEISER MD-421

HiH. AKG C-451EB

Top. AKG C-451EB×2

D.Bass. NEUMANN M-49C

(E.Bass). BSS DIRECT LINE BOX

(A)G 三研 CU-41

(E)G JANSEN DIRECT LINE BOX

LPer. NEUMANN M-269C×2

P. B&K 4003S×2

尺八 RCA 77DX 三研 CU-41

Vocal NEMANN M-269C

Vib AKG C-414EB×2

Mar AKG C-414EB×2

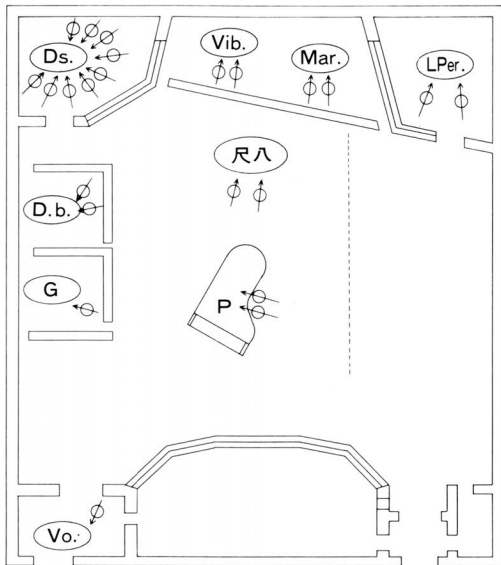
Tp RCA 77DX

Tb RCA 77DX

ASax RCD 77DX

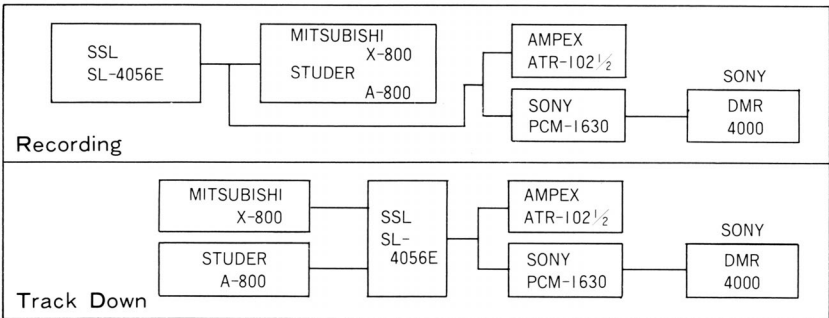
Strings NEUMANN M-269C×4

マイク・セッティング





録音ダイヤグラム



17

SIR DUKE

SUMMERTIME

John Kaizan Neptune &
Paula Desmond

- 1 I just called to say I love you (Music by Stevie Wonder, Arranged by J.K.Neptune) 3:54"
- 2 New York State of mind (Music by Billy Joel, Arranged by J.K.Neptune) 5:50"
- 3 My favourite things (Music by Richard Rodgers, Arranged by T.Naoi) 4:15"
- 4 Wave* (Words & Music by Antonio Carlos Jobim, Arranged by J.K.Neptune) 5:17"
- 5 Zip (Music by John Kaizan Neptune) 4:56"
- 6 Georgia on my mind* (Words & Music by Stuart Gorrell & Hoagy Carmichael, Arranged by T.Naoi) 4:50"
- 7 Manha do carnaval & Samba de Orfeu (Music by Luiz Bonfá, Arranged by T.Naoi) 5:36"
- 8 Over the rainbow (Music by Harold Arlen, Arranged by J.K.Neptune) 4:14"
- 9 Sir Duke* (Words & Music by Stevie Wonder, Arranged by T.Naoi) 3:38"
- 10 Satin doll (Music by Duke Ellington & Billy Strayhorn, Arranged by T.Naoi) 4:53"
- 11 Summertime* (Words & Music by Du Bose Heyward & George Gershwin, Arranged by J.K.Neptune) 4:33"
- 12 Night train (Music by J. Forrest, Arranged by J.K.Neptune) 5:15"
- 13 Till there was you (Music by Meredith Willson, Arranged by J.K.Neptune) 3:47"

* Paula Desmond (Vocal)